

プロフィール

伊藤 和広 いとう かづひろ

東邦音楽大学卒業。イタリアのミラノに留学。コモ県のエルバ国際音楽アカデミー・オペラ専修課程に学ぶ。ミラノでフランコ・カステッラーナ氏の元、研鑽を重ねる。第35回イタリア声楽コンクール・シエナ部門にてイタリア大使杯受賞。イタリア・ベルヴェーリョ国際声楽コンクールにて特別賞受賞。

フランコ・カステッラーナ氏の推薦により、ピアチェンツァ市立歌劇場のオーディションに合格。ミラノにて『ラ・ボエーム』マルチェッロ、『道化師』トニオ、在ミラノ総領事館主催コンサート、G.ヴェルディ財団主催コンサートに出演。リグーリア州アルビッソーラ・マリーナ夏の音楽祭に出演。

現在、東邦音楽大学准教授。東邦音楽大学大学院講師。
藤原歌劇団正団員。日本オペラ協会正会員。



Io tenore e maestro di canto, Franco Castellana, faccio presente di avere avuto come allievo il Maestro Baritono Kazuhiro Ito dalla fine del 2004 al 2007. Sin dalla prima lezione mi resi conto che Kazuhiro Ito possedeva una voce di Baritono lirico di notevole volume e bella qualità e una musicalità perfetta. Studiavamo con passione e amicizia.

Nel 2007 ho dato a Kazuhiro lezione di arte scenica presso l'Accademia internazionale di musica di Erba in provincia di Como.

Nelle ultime lezioni, sapendo che lui tornava in Giappone, gli occhi ci si riempivano di lacrime. Kazuhiro è stato il mio migliore allievo Baritono. In fede.

Franco Castellana

フランコ・カステッラーナ氏より推薦文

私、テノールそして声楽のマエストロであるフランコ・カステッラーナは、2004年末から2007年までマエストロのバリトン伊藤和広氏を門下生として迎えていたことを紹介しておきたいと思います。

最初のレッスンから、伊藤和広氏が注目し得る声量と素晴らしい資質、そして完璧な音楽性を備えたBaritono liricoの声を持っていることに気づきました。

私達は情熱と友情を持って学び、2007年にはコモ県のエルバ国際音楽アカデミーで私は和広にArte scenica（オペラ歌手としての舞台芸術表現・演技法）のレッスンを加えて行いました。

彼が日本に帰国することを知った最後のレッスンでは、私たちの目は涙でいっぱいになりました。

和広は私の最高のバリトンの門下生でした。

以上、証明します。

フランコ・カステッラーナ



フランコ・カステッラーナ

シチリア島エンナ出身。スポレート声楽コンクールで優勝。ENAL声楽コンクールではVoci Grezze賞をルチアーノ・バヴァロッティ氏と共に受賞。スポレートの勝者によるオペラ「ラ・ボエーム」（共演レナート・ブルゾン、ルッジェーロ・ライモンディ他）でデビュー後、ミラノ・スカラ座を中心に主役で出演多数。引退後はミラノ・スカラ座での発声指導及び声楽のマエストロとして日本へも藤原歌劇団や京都市立芸大等でスタークラスに招かれている。

